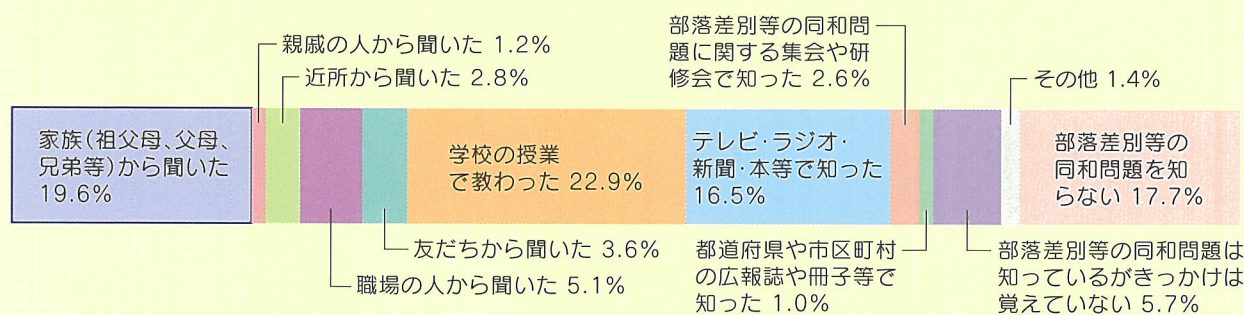


## 家庭教育の大切さ



テレビのホームドラマなどにおいては、女性が家事をし、男性がくつろいでいる姿などが多くみられます。また、コマーシャルなどにおいても男性や女性の固定的な役割に基づいたものがたくさん見られます。こうした場面を子どものころから見てみると、どのような意識が育つでしょうか。意識は生まれつき持っているものではなく、周りの環境によって育まれてくるものです。

### 同和問題をはじめて知ったきっかけ



人権擁護に関する世論調査 (2017年10月 内閣府)

「人権擁護に関する世論調査(2017年10月 内閣府調査)」では、部落差別等の同和問題をはじめて知ったきっかけは「学校の授業」が22.9%で、次に「家族(祖父母、父母、兄弟等から聞いた)」が19.6%となっています。

子どもたちが人権と初めて出会うのも、決めつけや思い込みを刷り込まれていくのも家庭であると考えたとき、わたしたち大人が、人権について正しく知り、自分の問題としてとらえ、家庭で話題にしていくことが、「子どもたちの明るい未来」へのスタートではないでしょうか。